

令和4年度 根ヶ布2丁目納涼夏祭りを開催しました。

令和4年7月23日(土)の午後6時から、多摩団地自治会と旭ヶ丘団地自治会が合同で第46回根ヶ布2丁目納涼祭りを、根ヶ布2丁目頂上広場において3年ぶりに開催しました(本年度は多摩団地自治会が主務)。

当日は、好天に恵まれ、大人240人、子ども40人の総勢280人が参加しました。

例年とは異なり、住民が楽しみにしていた焼き鳥、焼きそばの飲食物の提供、抽選会を中止し、来場者のマスク着用、アルコールによる手指の消毒など、できる限りの新型コロナウイルス感染症予防対策を行いました。

それに加え、檜、テント、照明(提灯)の設営期間を2日から1日に短縮し、全照明を電灯から消費電力の少ないLEDに変更するなどの省力化にも取り組みました。

テントの屋根の部分も一部を残して取り除き、椅子を檜の周りにソーシャルディスタントをとるように並べる等レイアウトの変更も実施することで、気軽に座っていただくことができました。

飲み物はアルコールを禁止して、ソフトドリンクだけを来場者の方にくらでも飲めるサービススタイルで提供しました。

また、今回は、子供が手持ちで楽しむ花火と大人が市販の花火を打ち上げる花火大会を実施しました。最後に実施した21mのナイアガラの滝は、とても盛り上がりました。

今回は、簡素化した納涼夏祭りで、どこまで楽しむことができるかという試みでもありました。高齢化が進む中、今後も納涼夏祭りが継続できるようにするためには、どうしても簡素化する必要がありました。それでも楽しむことができるようになるためのいろいろな工夫に挑戦しました。

2時間という短い時間の中、住民の方に十分楽しんでいただけたと思っております。



←盆踊り→

